



写真：鈴木心



直島、豊島、本島、粟島  
2日間、4つの島を巡るフィールドワーク。

直島・アート20年の歩み 連続トークへ本村トーク▽  
瀬戸内の歴史 本村の歴史

2012年3月10日(土) - 11日(日)

講師 岡市友利 (香川大学名誉教授/さぬき瀬戸塾塾長)  
定員 50名 <予約制> 料金 4,000円 + 船賃 5,000円 (2日間)

※料金はスケジュール内の施設の鑑賞料など、11日(日)の昼食代を含みます。  
※船賃は10日(土)の乗船時に船会社に直接お支払いいただきます。  
※原則は、両日の参加です。

本村<sup>ほんむら</sup>トーク

「本村トーク」は、直島の「家プロジェクト」に焦点を当てた、全4回のトークシリーズです。「家プロジェクト」のテーマのひとつは、「現在の内に過去と未来をもつ」ということです。アートを通じてその土地の記憶をひもとく活動が、現在にどういった影響をもたらしたか、さまざまな分野の方を講師にお招きし、マクロとミクロの視点から体系的に捉えなおします。

「瀬戸内の歴史 本村の歴史」

第2回の「瀬戸内の歴史 本村の歴史」では、直島・本村から瀬戸内の島々にフィールドを広げて、横断的な視点から「家プロジェクト」の試みを見つめなおします。

「家」がもつ長い歴史の中からひろい上げたキーワードを軸に、島ごとに異なる歴史を俯瞰して考察します。

講師には、瀬戸内海の環境や歴史に造詣が深い岡市友利氏を迎え、チャーター船で直島(香川県香川郡直島町)、豊島(小豆郡土庄町)、本島(丸亀市)、粟島(三豊市)の4島を巡ります。海に囲まれた島を持つ、独自でありながら外と交錯していく時間の流れを、どのように共存させていったのか。各島が積み重ねてきた時間を廻りながらひもときます。

# 生成

SEISEI  
Becoming・創・心・結・成・を・め・て・あ・る

直島・アート 20年の歩み 連続トーク<本村トーク>

## 瀬戸内の歴史 本村の歴史

講師 岡市友利 (おかいちともとし)

1929年、兵庫県生まれ。54年、東京大学農学部水産学科卒業、同大学院進学。55年に助手、イソメ毒の化学構造と生理作用で農学博士。91年、香川大学長に就任。97年より香川県豊島産業廃棄物処理技術検討委員会委員。赤潮研究の第一人者として、瀬戸内海の養殖ハマチの赤潮による被害が拡大した時、工場・生活排水による環境汚染を発生原因として究明した。河川の上流域を含めた包括的な環境保全、行政・住民・研究者が共同で環境を守るガバナンス（統合管理）の必要性を提唱。環境庁瀬戸内海環境保全審議会会長としての活動の場を通じ、赤潮被害軽減と水産業の発展に貢献してきた。受賞歴：紫綬褒章（1994年）、瑞寶重光章（2003年）

**直島（なおしま）**  
瀬戸内の海上交通の要衝として、古くから製塩業や漁業が盛んで、戦国時代から江戸時代初期にかけては水軍である高原氏によって統治され、その後は江戸幕府の直轄地に組み入れられ明治に至るまでは天領として栄えました。大正時代には銅の製錬所を受け入れ、現在も島の主要な産業として操業しています。本村地区は、高原氏が高台に海城を構え、その西側につくった集落を原形としています。

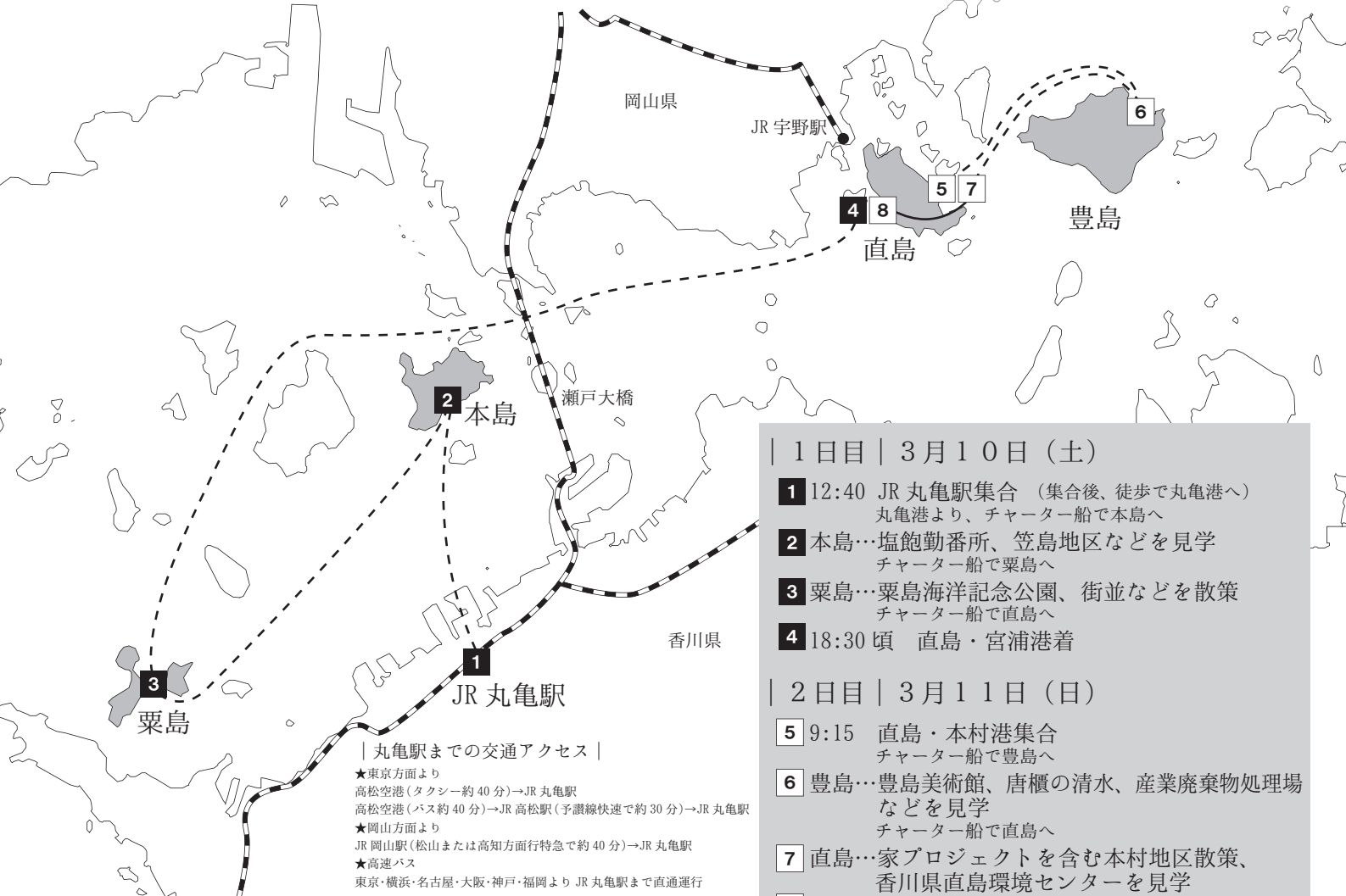
**豊島（てしま）**  
島の中央部にそびえる壇山には原生林が広がり、ふもとには「唐櫃の清水」と呼ばれる豊かな湧水を擁しています。その恩恵により古くから稲作などが盛んでした。また、賀川豊彦らにより乳児院や特別養護老人ホームなどが開かれ、「福祉の島」としても知られています。近年の産業廃棄物不法投棄事件は、全国的にも最大規模の産廃問題となりました。2010年には瀬戸内国際芸術祭の舞台となり、豊島美術館も開館しました。

### 本島（ほんじま）

かつて塩飽水軍の本拠地が置かれたところで、江戸時代には海運業で栄えました。秀吉の時代から自治権（人名制）を与えられ、明治維新まで人名による自治が続き、政務を執った塩飽勤番所が見どころのひとつです。また、塩飽大工が手がけたとされる江戸時代の民家と明治時代の建造物が現存している笠島集落は、国の重要伝統的建造物群保存地区に指定されています。

### 粟島（あわしま）

かつては北前船の寄港地として栄え、明治30年設立の国立粟島海員学校は、日本で最初に村立（当時）で開設され、海運業界に多くの人材を送り出してきました。昭和62年に廃校となった今は、粟島海洋記念公園として新しく生まれ変わり、島のシンボルとなっています。



**| 1日目 | 3月10日 (土)**

- 12:40 JR 丸亀駅集合 (集合後、徒歩で丸亀港へ) 丸亀港より、チャーター船で本島へ
- 本島…塩飽勤番所、笠島地区などを見学  
チャーター船で粟島へ
- 粟島…粟島海洋記念公園、街並などを散策  
チャーター船で直島へ
- 18:30 頃 直島・宮浦港着

**| 2日目 | 3月11日 (日)**

- 9:15 直島・本村港集合  
チャーター船で豊島へ
- 豊島…豊島美術館、唐櫃の清水、産業廃棄物処理場などを見学  
チャーター船で直島へ
- 直島…家プロジェクトを含む本村地区散策、香川県直島環境センターを見学
- 16:00 直島・宮浦港にて解散

**| 注意事項 |** 動きやすく、天候の変化に対応できる服装、また歩きやすい靴でのご参加をお勧めします。荒天の場合は中止させていただく場合があります。スケジュールを予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

**| 丸亀駅までの交通アクセス |**

- ★東京方面より  
高松空港(タクシー約40分)→JR丸亀駅  
高松空港(バス約40分)→JR高松駅(予讃線快速で約30分)→JR丸亀駅
- ★岡山方面より  
JR岡山駅(松山または高知方面行特急で約40分)→JR丸亀駅
- ★高速バス  
東京・横浜・名古屋・大阪・神戸・福岡より JR丸亀駅まで直通運行

☆イベントに合わせた特別宿泊プランも用意しています。  
| ベネッセハウス | tel. 087-892-3223  
| 直島ふるさと海の家 つつし荘 | tel. 087-892-2838

## 申し込み方法 | 申込締切3月8日(木)

※ご参加には事前の申し込みが必要です。詳細は下記をご覧ください。※1回につき2名様まで申し込みできます。※申し込みは先着順で受け付け、定員になり次第締め切らせていただきます。※ご予約後のキャンセルは、開催日の1週間前までをお願いいたします。

1. ウェブサイト <http://www.benesse-artsite.jp/>  
申し込みフォームに必要事項を記入の上、オンラインにて申し込みください。
2. ファックス 087-892-4466  
『本村トーク 岡市友利』参加希望」と明記の上、代表者の住所・氏名・参加人数(1回の申し込みにつき2名様まで)・ファックス番号・当日連絡の取れる電話番号をご記入ください。
3. 電話 086-270-5135  
生成(せいせい)事務局専用ダイヤル (受付時間: 月~金曜 10時~17時)  
※祝日を除く

※当日は、受付にて申し込み者のお名前をお伝えください。  
※島へのアクセス、および島内アクセスについては、ベネッセアートサイト直島ウェブサイト (<http://www.benesse-artsite.jp>) をご覧ください。

**<個人情報の取り扱いについて>**  
ご記入いただく個人情報は、ベネッセアートサイト直島における講演会の実施およびそれに関連する連絡のために利用する他、ベネッセアートサイト直島に関連する商品・サービス、直島での文化・芸術活動および地域づくりの活動の情報を当財団からご案内する目的で利用します。  
情報を業務委託先に預ける場合があります。また、ご記入は任意ですが不足がある場合、当財団からの情報・サービス等の提供に支障が生じる場合があります。個人情報の取り扱いに関するお問い合わせは、財団法人 直島福武美術館財団 (087-892-2550) にて承ります。上記をご確認のうえ、ご承諾いただける方は、ご記入・ご連絡ください。  
財団法人 直島福武美術館財団